

JAきたみらい

あまのたま サクラダ

2015



vol.149

6

はいっポーズ!

《置戸地区・安住》

加藤亜由美さんと花ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

北見産の小豆のおいしさを伝えたい!
(株)清月「きたみあずき屋」
ブランド立ち上げ



水稲の田植え

季節の薫り



好天に恵まれた5月下旬、きたみらい管内では田植え作業が一斉に始まった。水面に青空と移植機が映るなか、手際よく苗が積み込まれ、整列されて植えられていく。

9月中旬からの収穫へ向け、今後は除草剤を施用、落水して田面が露出することがないように水管理が行われる。

田植えが終わると、きたみらい管内の春の植付作業も一段落し、緑の映えた田園風景が各地域に広がる。豊穡の秋を願い、これからの好天を祈念。

(高田 陽介)

写真は5月27日、端野町三区・沼崎栄治さんの圃場で撮影。沼崎さんは20.5%作付けする予定で、「6年連続の豊作を目指し、豊穡の秋を組合員みなさんで分かち合いたい」と話してくれました。
なお、JAきたみらい管内の作付け予定面積は752%で、生産量約3千9百トンを見込んでいます。

もくじ CONTENTS

特集① 北見産の小豆の 美味しさを伝えたい! 「株清月」きたみあずき屋 ブランド立ち上げ	4
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「明るく元気に育って」	2
○地域だより	6
○ほのぼのの広場 ・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・ブリティーウーマン ・大きくなったら	8
○JAからのお知らせ	10
○おひさまサラダクッキング 「丸ごとイカのいろいろ詰め」 「サラダ・ニソワーズ」	16

表紙紹介

明るく元気に育って

快晴で夏のような暑さを感じる5月28日、加藤さん宅を訪ねると、お母さんの亜由美さんに抱っこされた花ちゃんが玄関まで迎えてくれました。
歩き始めるようになって元気いっぱい動き回るようになった花ちゃん。お外遊びが好きで、天気の良い日はお母さんと一緒に家の周りや公園で遊びます。最近はややぼんやりお気に入り、お父さんの晃章さんがしゃぼん玉を吹くと大喜びです。動物も好きで、愛犬のメロンがそばに来ると怖がらずにニコニコ笑顔を見せてくれました。食への好き嫌いもなく、特にイチゴが大好きです。
「花」という名前は、花のように周囲を明るくして皆から愛されてほしい」という願いを込めてお父さんが名付けたもの。おじいちゃんのお憲さんは、「孫がいると家の中がにぎやかです」と目を細めます。そんな花ちゃんにお父さんとお母さんは、「明るく元気に育って欲しい」と優しく話してくれました。
(横田 佳織)



【ご家族紹介】
左から～お母さんの亜由美さん(30)、おじいちゃんのお憲さん(68)と花ちゃん(1歳7ヶ月)、お父さんの晃章さん(31)
加藤さんは小麦、甜菜、馬鈴薯、スイートコーンを約23%作付けしています。

特集

『北見産の小豆の美味しさを伝えたい！』 「きたみあずき屋」ブランド立ち上げ

今年の9月8日で創業80周年を迎える(株)清月は、80年の節目に北見産の小豆を用いた「きたみあずき屋」ブランドを立ち上げ、6月1日より店頭で販売されています。「きたみあずき屋」に込めた思いを(株)清月の渡辺社長に伺いました。



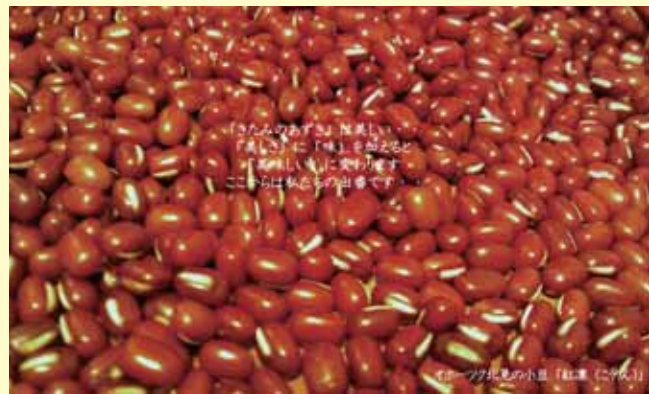
◀渡辺 主人氏プロフィール▶

1970年3月生まれの北見市出身。北見北斗高校、日本大学経済学部卒業後、京都で3年間サラリーマン勤務を経て(株)清月に入社。菓子製造という仕事柄、その原料にはこだわり、積極的に北海道産の原料を取り入れたお菓子作りに励んでいる。趣味は美味しいものを食べることに、新商品のアイデアを考へることとひたむきさが伝わってくる。

○「きたみあずき屋」立ち上げのきっかけは？

今まで80年間もお菓子を作り続けて来られたのは、北見の皆さんに支えられてきたおかげであると常に考えており、この節目の年に北見産の小豆などの原材料を活かした新たなお菓子を作ることで地元に戻りたいと思っていました。

更に、創業当時から唯一作り続けているお菓子に「薄荷羊羹」(はっかようかん)があり、清月にとって小豆は昔から馴染みのある原材料でした。しかし、実際に北見で小豆がどのくらい作られているかは分からず農協に尋ねてみたところ、100戸もの農家さんが小豆を生産していることを知りました。そこで小豆のサンプルを分けてもらい、長年勤務する職人さんと一緒に1年掛かりでお菓子の試作をしたところ、周囲から「美味しい」と大好評で、北見産の



▲「きたみあずき屋」のパンフレットでは、北見産小豆を紹介しています。



小豆の味・品質ともに良いことを改めて実感、北見産の小豆『紅凛(こうりん)』を用いたブランドの立ち上げを決めました。

○商品のおすすめポイント

若い人たちが子供たちにお菓子を受け入れてもらうためには、伝統を守りながら新しい商品作りに挑戦するという考えのもと、試行錯誤を重ねて全種類の商品を作りました。中でも一押しは「金箔仕立てあずき屋ようかん」。ようかんの表面を乾燥させ、小豆の味わいをより楽しむことができます。ちなみによくかんの形は清月80周年にちなんで八角形にしました。

また、可愛らしいうさぎの焼き印が押された「あずき屋ごらやき」は、こしあんを用いることで滑らかな口あたりになりました。大きさも通常のどらやきより小ぶりになることで、他のお菓子と共に食べられるようになっていきます。

他にも、小豆を生地に練り込んだ「あずき屋クッキー」、北見産の小豆と高知県産のゆずを用いた「あずき屋ゆずロール」、抹茶のスパンジに小豆がぎゅっ入り入った「あずき屋ぱんどケーキ」があり、和菓子から洋

菓子まで幅広い商品ラインナップになっています。

○今後の展開について

「きたみあずき屋」の商品をまずは地元の方々に食べて頂き、北見産の小豆の美味しさを実感して頂きたい。そして日本全国に広げていきたい。

いと思っています。また、今回は小豆を用いたお菓子を作りましたが、北見には他にもたくさん農産物があります。生産者の皆さんが作った美味しい農産物の可能性を表現するのは私たちの役目であると考えています。今後も北見産の原材料を活かしたお菓子を作り続けていきたいです。

また、この「きたみあずき屋」を



▲「きたみあずき屋」から発売された5種類の商品ラインナップ



◀清月のキャラ「うーちゃん」に似せた、絵本に登場するうさぎさん

PRするためWebページやfacebook、子ども達でも読める絵本を作成しています。絵本の完成は7月末を予定しています。



▲本店のみなさんと新しく設置された「きたみあずき屋」コーナー

「きたみあずき屋」 清月の各店舗でお求め頂けます

- 本店
北見市北1条西1丁目 ☎0157-23-3590
 - 屯田支店
北見市とん田西町226 ☎0157-61-1123
 - 夕陽ヶ丘店
北見市高栄東町1-11-6 ☎0157-22-3318
- ホームページ
http://www.kitamiyazukiya.com
http://www.seigetsu.co.jp

留辺蘂地区大富の茂住修二さん（きたみらい豆類振興会会長）の圃場では5月25日、白花豆の播種作業が行われました。

茂住会長の圃場では、今年白花豆を2畝作付け。温根湯・留辺蘂地区全体では耕作者40戸で約120畝の作付けを見込んでいます。

播種作業は例年よりやや早く始まり、18日から行っているところもあったそうです。また、昔は歩きながらの播種作業が主流で、播種から収穫まで本当に手のかかる作目でしたが、今では昔のポテトプランタを改造した播種機が圃場を走り、早く作業が終わるようになったそうです。

茂住会長は「今後の雨と気温の上昇が重要。今年は品質・量ともに昨年並み以上を期待している。手間をかけて需要に応えたい」と話してくれました。

さらに茂住会長も在籍する留辺蘂町「白花豆くらぶ」では、今後も農工商と連携して白花豆のPRに力を入れていく予定です。（丸山 恵理）



▲晴天の中、順調に進む白花豆の播種作業

西地域 留辺蘂 **品質・量ともに 昨年並み以上を!**
～白花豆播種作業～



▲紅く色づいたイチゴを丁寧に収穫する公平さん

東地域 北見 **イチゴの出荷 始まる**
～昨年より数日早く～

北見地区では、5月18日よりイチゴの出荷が始まっています。公平慎一さん（27）のハウスでは早朝より収穫が行われ、一面緑色の中に紅く色づいたイチゴを一つひとつ丁寧に摘み取っていました。収穫開始は昨年より数日早く、多い日で1日あたり1.2kg入りの化粧箱20ケースを出荷します。

公平さんは4棟のハウス約280坪に四季成り品種「サマールビー」を栽培しており、同品種を導入して11年目となります。今年の出来について公平さんは、「気温が高めの日が続いており昨年に比べて変形果が出やすいため、引き続き管理作業に励みたい」と話しました。収穫されたイチゴは地場市場のほか、業務用として府県へも出荷されます。

北見地区では7戸がイチゴを作付けしています。収穫は11月末まで続き、約1.2畝の出荷が見込んでいます。（横田 佳織）



地 域 だ よ り



温根湯地区の酪農女性農業者20人で組織されている、みるくVACCA（石井加代子代表）はエコープ温根湯店の牛乳コーナーに手作りのPOPを貼り、牛乳の魅力をPRしています。

みるくVACCAは主に冬場に集まり加工品作りや牛乳を活用した料理の考案、依頼があれば食育活動の講師も行っていきます。Aコープ売り場には、牛乳の栄養価をPOPでPRしています。

代表の石井加代子さんは「昨今の健康ブームもあり、消費者の方たちの健康づくりに是非役立ててもらえたら嬉しい。これからも地域の人とのつながりを大事にしながらか牛乳をPRしていきたい」と話してくれました。

また、今後は男性の方にもより見てもらえるようにするため、POPの貼る場所や位置についても検討していく予定です。（丸山 恵理）

西地域 温根湯 **手作りPOPで 牛乳の魅力をPR!**



▲POPの位置を調整する石井代表

南地域 置戸 **園児らが仔牛の 哺乳体験**

青年部置戸支部



▲仔牛にミルクをあげる園児達

JAきたみらい青年部置戸支部畜産部会は5月25日、置戸町で認定こども園置戸町こどもセンター「どんぐり」にて園児たちを対象に哺乳体験を行い、部員20人が参加しました。

このイベントは食育活動の一環として毎年行われており、今年で5回目の開催となりました。

園児たちははじめに、牛乳に関するクイズに挑戦し、紙芝居を使った質問に元気良く手を上げて答えていました。その後、園児たちは仔牛の哺乳を行い、仔牛がミルクを飲む姿に「かわいい」と喜びの声を上げました。

また、園児たちは牛乳からバターが作られるところを学び、実際に牛乳の入ったペットボトルを振り、出来上がりを見て驚いていました。

片桐敏史畜産部会会長は「仔牛とのふれあいにより、酪農を身近に感じていただけたら」と話していました。（神田 貴章）

きたみらいの
ホープさん



- 趣味は？
バスケットボール、釣り
- 好きな食べ物は？
焼肉
- 理想の女性は？
自分が好きになった人
- 農業で学び実感したことは？
日々大変です。
- 今後の抱負は？
2、3年は親や先輩からいろいろな知識を学び将来的には親を越して、親孝行したいです。

(梅澤 大)

彰仁さんは畑野複合経営の秀幸さん、知江美さんの長男で、今年就農しました。

親孝行したい

相内地区・豊田

高橋 ^{あきひと}
彰仁さん(20歳)

Pretty Woman
ウーマン



**楽しさを伝えて
もっと入りやすい女性部に!**

北見地区・三輪

佐伯 真由美さん(49歳)

今回は女性部北見支部長の佐伯さんに登場いただきました。(丸山 恵理)

◆ご出身、結婚前の職業は？

出身はサロマで、JAサロマで4年ほど勤めていました。その後、北見で食料品のレジ打ちをしていました。当時はすべて手打ちで、試験もあるくらい正確さが求められる職業でした。

◆ご主人との出会い、ご家庭は？

主人とは25歳のときに仲人さんの紹介で知り合いました。1度ご飯に行った際に意気投合し、交際半年で結婚。実家が酪農家だったため、農家に嫁ぐことに抵抗はありませんでした。子どもは息子2人と娘が1人で、今年からみんな社会人になり、親元を離れそれぞれ頑張っています。

◆趣味はなんですか？

子どもたちが小さかった頃は、よくお菓子作りをしていましたが、最近はあまりしていません。時間があるときは、主人とドライブに行ったり、映画に行ったりと、夫婦の時間を楽しんでいます。これからは夫婦で温泉や沖縄など旅行にも行きたいと思っています(^_^)

◆組織活動で楽しいこと、今後の抱負は？

女性部の活動では、部員との視察研修が楽しみで、個人ではいけないようなところにも行けるのが魅力的です。また、最近では若い世代の部員も増え刺激をもらえるのも良いですね。今後は、女性部の楽しさを伝えてもっと入りやすい女性部にしていきたいです。そのためにも、今の本部役員さんや支部の部員と協力しながら、声掛けなどをしながら盛り上げていきたいと思っています。

大きくなったら

マンガ家になりたい! (雄大くん)

マンガを読むのが好きです。特にギャグマンガが好きなので、いつか描いてみたいと思っています。

ファッションデザイナーになりたい!

(さくらちゃん)

ときどき、着てみたい服を想像して絵を描いています。いつか自分でデザインした服を着てみたいです。

ふたりは永井一好さん、美紀子さん夫妻の長男と三女です。雄大くんはサッカー、さくらちゃんはバレーボールの少年団でプレーしています。練習がお休みの日に取材をさせてもらいました。(石井 睦美)



訓子府地区・豊坂

永井 ^{ゆう だい}
雄大くん(11歳)
さくらちゃん(10歳)

Qお付き合いしたきっかけは？

友達の紹介でお付き合いするようになり、今年で結婚10年目を迎えます。

Q休日の過ごし方は？

家族で買い物に行ったりご飯を食べに行ったりします。

Qこれからしたいことは？

時間が出来たら、二人でゆっくり国内各地へ旅行に行きたいです。

Qお互いへの感謝の言葉

朋和さん……いつも家族のために美味しいご飯を作ってくれてありがとう。

舞さん……いつも家事を手伝ってくれてありがとう。

(横田 佳織)



ながよし夫婦

ともに支え合って10年

上常呂地区・広郷

長部 朋和さん(30歳)

舞さん(31歳)

INFORMATION

図 1

医師会とは？

- 国民の健康や医療を守る学術集団(団体)。
- 開業医だけではなく、勤務医や研修医も集まり「国民が安心して健康に暮らすこと」を実現するために、医療環境を整えるための様々な活動や提言、情報提供を行っている。
- 年齢、職場、立場の異なる医師たちが交流し、情報交換を重ねることのできる貴重な場所。

図 2

(一社)北海道医師会

役員：会長1名、副会長3名、理事25名(うち常任理事14名)、監事3名
職員：41名(うち嘱託3名)

- 総務部
- 財務部
- 医療安全・医事法制部
- 医療政策部
- 医業経営・福利厚生部
- 情報広報部
- 医療保険部
- 地域保健部
- 地域医療部
- 地域福祉部
- 産業保健部
- 救急医療部
- 医療関連事業部
- 学術部

図 3

事務局担当団体(10)

- 北海道救急医学会
- 北海道航空医療ネットワーク研究会(HAMN)
- 北海道有床診療所協議会
- 北海道プライマリ・ケア研究会
- 北海道内科医会
- 北海道産婦人科医会
- 北海道小児科医会
- 北海道耳鼻咽喉科医会
- 北海道保育園保健協議会
- 北海道医史学研究会

図 4

混合診療とは

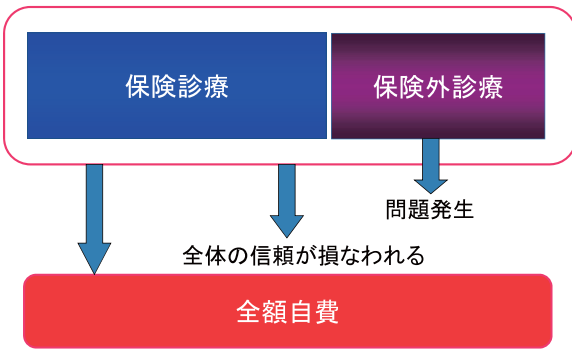


図 5

日本が今後、TPPIに参加した場合の懸念(まとめ)

- 日本での混合診療の全面解禁(事後チェックの問題を含む)により公的医療保険制度の給付範囲が縮小する。
- 医療の事後チェック等により公的医療保険の安全性が低下する。
- 国民皆保険を維持するという社会的合意がある以上、混合診療の全面解禁はするべきではない。
- 未確立な医療を管理するルールを整えた上で、所得格差が医療格差につながらないような制度運用ができるのであれば、現状の「管理された混合診療」の継続が妥当。

図 6

日本が今後、TPPIに参加した場合の懸念(まとめ)

- 富裕層に基準を合わせると日本の社会は成立しない。不合理な社会、他者に関心を持たない、日本人らしからぬ社会になってしまう。
- 株式会社の医療機関経営への参入を通じて患者の不利益が拡大する。
- 医師・看護師・患者の国際的な移動が、医師不足・医師偏在に拍車をかけ、さらに地域医療を崩壊させる。

TPPIの参加は絶対に阻止しなければならない!!

「TPPが国民医療に及ぼす影響について」

一般社団法人北海道医師会 事業第二課長 西村 務氏

世間一般では、TPPと言えば農業の問題だと知られております。食料自給率がわずか40%にも満たないわが国においては、農業分野に多大な影響を及ぼしかねないことから是非とも国会決議を遵守していただきたいところでありますが、現実にはなし崩し的に扱われ、甚だ不安定な状況であります。

一方、医療分野におきましては毎回交渉しているらしいのですが、一向に先が見えてこない状況にあります。

したがいまして、本日は、もしも、TPPが国会で批准された場合、日本の国民医療はどうなるのかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

【「一般社団法人北海道医師会」の紹介は図1～3のとおり。赤字は演者の担当業務。】

日本の医療は、平等で、患者にとっても医療機関の選択等の自由度や質が高く、しかも既に世界一の高齢化率に達しているにもかかわらず、先進諸国の中でも低コストで提供されており、世界的に極めて高い評価を受けております。

今日の健康保険の基礎となるものが大正から昭和初期にかけて誕生し、昭和36年(1961年)、ついに「国民皆保険」が成立しました。保険証1枚で国内のどこの医療機関にも自由に受診することができるようになりました。

公費(公助)約4割、保険料(共助)約5割、患者負担(自助)約1割の財源構成で、この状態が維持されております。

さて、何度も耳にすれども本当のところはよくわからない「混合診療」についてお話しします。【図4】「保険診療」と「保険外診療」を同時に行うことから「混合診療」と言われております。

現在、厳しく管理された部分的な混合診療が行われておりますが、全面的に行うことには問題があります。公的保険が適用されない「保険外診療」を同時に行って何か問題が発生した場合、公的医療保険が適用される「保険診療」自体への信頼性が損なわれることになるからです。また、その場合の費用は、全額自費とな

ります。さらに、がん治療をはじめとした高額な自己負担を軽減するために自己負担額の一定限度額を定めた「高額療養費制度」が活用できなくなります。このように全てが自己負担になってしまうのです。

また、株式会社が医療機関経営に参入した場合、株主への配当が第一優先であることから、コスト削減のため安全性が犠牲になったり、救急医療等の不採算部門や不採算地域から撤退したり、患者の選別に繋がるようなことが生じかねません。

このように、いろいろな影響が想定される中、紙面の都合上、日本が今後、TPPに参加した場合のいくつかの懸念【図5～6】をまとめました。

- 混合診療の全面解禁により、公的医療保険制度の給付範囲が縮小するのではないか。
- 公的保険の安全性が低下するのではないか。
- 全面解禁は、所得格差が医療格差につながる懸念があるため、現状の「管理された混合診療」の継続が妥当。
- 一部の富裕層に基準を合わせると日本の社会は成立しなくなる。不合理な社会、他者に関心を持たない、日本人らしからぬ社会になってしまうのではないか。
- 株式会社の医療機関経営への参入を通じて、患者の不利益が拡大するのではないか。
- 医師・看護師・患者の国際的な移動が、医師不足・医師偏在に拍車をかけ、より一層、地域医療の崩壊を招くことにつながるのではないか。

以上のことから、TPPへの参加は絶対に阻止しなければならないという結論に達します。

食の安全を守ることも健康を守ることもともに道民の命を守ることであります。これから様々な団体がさらに活発なTPP反対運動を展開していくものと思いますが、北海道医師会としても皆様と足並みをそろえながら気を引き締めて対応してまいりたいと考えております。

INFORMATION

「TPP交渉の国会決議堅持を求め る北海道緊急要請集会」開催

北海道中央会と道漁連、道森連、道農連で作る実行委員会が主催し、5月16日に札幌市にて「TPP交渉の国会決議堅持を求める北海道緊急要請集会」が開かれ、全道の農業者や漁業者ら約650人が参加しました。

主催者を代表し挨拶したJA北海道中央会の飛田稔章会長は「米の輸入枠拡大や牛肉、豚肉の関税引き下げなどの報道が事実であれば、国会決議を踏みにじるものであり絶対に認めるわけにはいかない」と強く非難しました。続いて中央会の内田和幸副会長が要請書を読み、出席した14人の道内選出与野党国会議員に交渉内容の情報開示に加え、重要5農産物の関税を守るとした国会決議を順守するようあらためて強く要請しました。

各団体を代表し、道漁連の石井啓太副会長、道森連の村上守義会長、道農連の石川純雄委員長、JA女性協の大原ノリ子会長がそれぞれ意見表明をしました。国会議員の各代表者らは、国会決議順守などに向けた意志を示しました。集会の最後には



札幌中心部をデモ行進しTPPの問題を訴える参加者のみなさん

JA道青協の齊藤和弘会長が「ふるさと、地域を守るために心を合わせたい」と呼び掛け、頑張ろう三唱で締めくくりました。集会後、参加者は札幌中心部をデモ行進し「TPP交渉の情報開示しろ！国会議決を守れないなら脱退しろ！」などと声をあげながらTPPの問題を広く訴えました。

農家の目線になって

農業実習に汗を流す

JAきたみらいでは4月29日から5月8日まで、当JA新採用職員9人をはじめとした、全中、ホクレン、信連の実習生6人が農業実習を行い、農家の目線になって汗を流しました。職員らは1人ずつ理事者宅にわかれ、玉葱の補植などを行い、組合員の営農と生活を実体験しました。

置戸町宇豊住の奥山忠明営農専門委員長宅で実習を行った神田貴章職員は「玉葱の補植などを行い、いろいろなお話をお聞きしました。天候を日々気にしながら、農家の目線になることを忘れずにこれからの業務に活かしたい」と実習を振り返りま



玉葱の補植を行う神田職員

また、5月3日から7日まで、三井物産株式会社の呉智杰(ごちけい)研修員を受け入れ、玉葱の農作業を経験しました。当JAは昨年からの『さらさらゴールド』のテスト栽培に取り組み、三井物産株式会社に出荷しています。さらさらG生産者のひとり、温根湯地区昭栄の森部雅博さん宅で実習を行い、玉葱の補植などの生産現場を実体験しました。呉さんは「苗の1本1本が大切に感じられ、農家の思いを知ることができました。生産者の思いを大切に玉葱を取り扱っていききたい」と話してくれました。



森部啓太さんから生産現場を学ぶ呉智杰研修員(左)

今年も新鮮野菜を消費者へ かあさんの朝市会 10月4日まで開催

JAきたみらいの農家女性らで組織する「北見市かあさんの朝市会」が24日より同JAセンター事務所特設会場で始まり、晴天の下、約100人の市民が来場しました。今年で23回目を迎える朝市の開催に先立ち、会長の安東ゆかりさんは、「消費者の皆さんの支えがあったからこそ今まで続けることができた。今年も新鮮な野菜や花を届けたい」と挨拶しました。

当日は会員10人のうち9人が参加。ネギやホウレンソウなどの葉物野菜のほか、山菜や野菜苗などを各々の売り場に並べ、来場者にお勧めの調理方法や栽培方法などの対話を交えながら販売し、品物は開始から15分ほどで売り切れました。毎年訪れるという北見市内の70代の男性は、「今年も朝市が始まる



会員から話を聞きながら新鮮野菜や苗を買い求める消費者たち

のを楽しみにしていた」と買い求めた野菜を抱えながら嬉しそうな表情で話しました。今年の朝市は10月4日までの毎週日曜日、午前6時から開かれます。(※品物がなくなり次第終了となります)

廃プラ回収のご案内

6月16日から各地区で

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行われます。受入日時・場所や排出区分等確認のうえ、持ち込み願います。

なお、処理料金の1/3を助成して回収しておりましたが、未洗浄農薬空容器については農ビ類・農ポリ類と同等の助成として回収を行います。

- 受入区分
 - ・農ビ類
 - ・農ポリ類
 - ・未洗浄農薬空容器

- 受入時間
 - 午前： 9：00～12：00
 - 午後： 13：00～15：30

日 程	受入 場 所
6月16日(火)	上常呂広郷倉庫 置戸堆肥センター
6月17日(水)	温根湯選果施設
6月23日(火)	西相内小麦乾燥貯蔵施設
6月24日(水)	西相内小麦乾燥貯蔵施設
7月6日(月)	端野選果施設
7月7日(火)	端野選果施設
7月14日(火)	訓子府選果施設

※日程が合わない方は、6月23日・24日の西相内小麦乾燥施設での受入も可能です。



産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

※注意事項
●農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



5月号まちがい探しの当選者

5月号のまちがいさがしの答えは「4、6、7、8、9」でした。正解者29名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・後藤 真佑さん(置戸) ・鈴木 大拙さん(置戸)
- ・柴田ひとみさん(訓子府) ・水上てる子さん(訓子府)
- ・可知 晴子さん(訓子府) ・福井 雄大さん(北見)
- ・井上 満さん(北見) ・佐藤 圭悟さん(北見)
- ・橋本 勝三さん(北見) ・今村美八子さん(端野)

以上の方々には、JAきたみらい新商品「麦香旨麦まるごとうどん」3袋をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、清月の新商品詰め合わせをプレゼントします。

今 年は風が強く、どんな年になるのだろうと色々考えますが、考えたって天気は神のみぞ知る…です(笑)

(訓子府地区 岡崎 大和さん)

本当に今年は風が強いですね。この間組合員さんに聞いたお話によると風の強い年は4年に1度来ると言われているらしいですよ!

お ひさまサラダがきましたら家族でまっ先にまちがいさがしに挑戦します。雨が降りほつとしたので初めて応募します。

(北見地区 橋本 勝三さん)

毎回挑戦してくださっているのですね!ありがとうございます(^_^)またご応募お待ちしております♪

先 日うどんを食べました。のどごしが良くおいしかったです。玉ねぎしょうゆもおいしかったです。

(匿名希望)

加工品お召し上がりいただきありがとうございます。焼肉のタレはこれからの季節におすすめですよ!また試してみてくださいね♪

生 活バランスを考え健康で生きられるよう1年頑張りたいと思います。

あと何年百姓できるかな〜。豊作を!

(端野地区 今村 美八子さん)

農家の方々は身近に美味しい作物があり、早寝早起き&体を使うお仕事なので、生活バランスはとてよさそうですよね!生活バランスだけでなく農作業事故にも気を付けてくださいね。

VOICE 読者の声

INFORMATION

第4回 理事会報告

5月29日、午前9時より第4回定例理事会が開催され、報告事項16件、議決事項13件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査(融資部門)報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④夏期手当の支給について
- ⑤第12回通常総代会に対する組合員からの疑義に関わる道の見解について
- ⑥北見市に対する平成26年度縁故債の貸付について
- ⑦反社会的勢力等の取引排除及び組織犯罪等の防止に係る対応状況について
- ⑧5月20日突風被害について
- ⑨海外での口蹄疫発生状況について
- ⑩平成27年産秋小麦の冬枯れ発生状況調査結果報告について
- ⑪作況調査(5月15日)報告について
- ⑫畑作・青果対策の確立に向けた組織討議について
- ⑬生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑭園芸市開催報告について
- ⑮営農用燃料に対する盗難補償の加入について
- ⑯人事発令について

【議決事項】

- ①出資減口について
- ②固定資産の取得について
- ③諸規程等の制定について
- ④外部出資金の増口について
- ⑤地域運営委員の選任と委嘱について
- ⑥夏期地区別懇談会実施日程(案)について
- ⑦総代選挙に係る選挙管理者等の指名について
- ⑧南地域運営委員長、副委員長の選任について
- ⑨理事の順位について
- ⑩訓子府町農業委員の推薦について
- ⑪平成26年度JAきたみらいディスクロージャー誌の発行について
- ⑫相内人參選別施設の解体処分について
- ⑬H27肥料事業推進方針について

退職者のお知らせ

平成27年4月30日付で職員が退職しましたのでお知らせ致します。



在職中は、組合員皆様をはじめ、地域皆様に御厚情を頂き誠にありがとうございました。

米地 睦美

(金融共済部 訓子府支店)

- S61. 4. 1 端野町農協入組
- H15. 02. 01 端野支所 農畜産課 畜産係 主任
- H19. 02. 01 端野支所 農畜産課 農産係 主任
- H20. 04. 01 畜産部 畜産課 主任
- H21. 06. 01 販売企画部 畜産グループ 主事補
- H25. 05. 01 金融共済部 訓子府支店 主事

■在職期間 29年

お詫びと訂正

先月号(148号)の「おひさまサラダ」で、誤りがありましたので、深くお詫びし、次のとおり訂正いたします。

- ・P4~5 特集(誤)長尾 俊章
→(正)長尾 繁章
- ・P5~6 特集(誤)斉藤のり子
→(正)斉藤のり子

置戸で音楽フェス 開催!

置戸町開町100周年記念事業の一環として、置戸町にて野外音楽フェスが開催されます。置戸支部の青年部・フレミズなど担い手世代が中心となり、フェスティバルを盛り上げます。きたみらいもブースエリアに出店し、加工品を使った食品の販売を行います。皆様のお越しをお待ちしております!



夏期地区別懇談会

~7月14日から各地区で~

平成27年度「夏期地区別懇談会」が次の日程で開催されます。懇談会は組合員みなさんからJAへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のJAに反映させることを目的として開催されるものです。

農繁期でご多忙とは思いますが一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレミズ、家族みなさんの出席をお願い致します。

○日程 7月14日(火)~7月17日(金) までの4日間

○時間 午前の部 9:00~12:00
午後の部 13:30~16:30

日 程	地区事務所等	
	午 前	午 後
7月14日(火)	留 辺 薬 (2階大会議室)	温 根 湯 (2階大会議室)
7月15日(水)	端 野 (2階大会議室)	北 見 (2階大会議室)
7月16日(木)	相 内 (2階大会議室)	上 常 呂 (1階大会議室)
7月17日(金)	置 戸 (町中央公民館)	訓 子 府 (3階大会議室)



【材料：2人分】

- | | |
|-------------------|------------------|
| スルメイカ……………2杯 | 塩……………小さじ1 |
| ご飯……………160g | しょうゆ……………少々 |
| ゆでたエダマメ……………30g | トマトソース |
| ゆでたトウモロコシ……………30g | トマト缶……………1個 |
| エリンギ……………1本 | ニンニク……………1片 |
| ピーマン……………1個 | タカノツメ……………1本 |
| しょうが……………1片 | EVオリーブ油……………小さじ1 |
| ブラックオリーブ……………4個 | 塩……………小さじ1/2 |
| EVオリーブ油……………小さじ1 | 白ワイン……………大さじ3 |
| 白ワインA……………大さじ1 | レモン……………少々 |

丸ごとイカのいろいろ詰め

【エネルギー約415kcal(1人分)】

【作り方】

- ①イカは足と骨と内臓を除き、丁寧に腹の中を洗い、水分をキッチンペーパーで拭き取る。イカの足、エリンギ、ピーマン、ショウガ、ブラックオリーブは0.5～1cmに切る。
- ②フライパンにオリーブ油を熱し、エリンギとショウガを炒めてからイカの足と白ワイン(A)を加える。イカに火が通ったらブラックオリーブ、ピーマン、塩、しょうゆを加え、火を止める。
- ③ご飯と②、エダマメ、トウモロコシをよくかき混ぜ、イカのおなかに詰めて、つまようじで留める。
- ④フライパンにトマトソースの材料を入れ、中弱火でふたをして7～8分煮る。
- ⑤④に③のイカと白ワインBを加え、一度ひっくり返し約10分煮る。トマトソースが煮詰まり過ぎている場合は、さらに白ワイン(材料外)を加え調整する。
- ⑥イカを取り出し、カットしてから盛り付け、レモンを添える。

メモ

旬のスルメイカにご飯、エダマメ、トウモロコシなどの野菜をたっぷり詰め込みトマトソースで煮ています。トマトソースは白ワインで好みの濃さに調整してください。煮過ぎるとイカが硬くなるので気をつけましょう。

おひさまサラダ COOKING ♡おいしいもの大好き!♡



【材料：2人分】

- | |
|------------------|
| レタス……………5枚 |
| キュウリ……………1/2本 |
| トマト……………1個 |
| ジャガイモ……………1～2個 |
| サヤインゲン……………4本 |
| ゆで卵……………1個 |
| ツナ缶(小)……………1缶 |
| アンチョビ……………4枚 |
| ブラックオリーブ……………4個 |
| 塩・こしょう……………適量 |
| EVオリーブ油……………大さじ1 |
| レモン……………1/2個 |

サラダ・ニソワーズ

【エネルギー約321kcal(1人分)】

【作り方】

- ①ジャガイモは塩少々入れた水から約20分、柔らかくなるまでゆでる。皮をむき、食べやすい大きさに切り、塩・こしょうを振る。
- ②インゲン塩少々入れた湯で約2分ゆで、2～3等分に切る。
- ③ゆで卵は4等分に切る。
- ④レタスは水気をよく切り、手でちぎる。キュウリとトマトは食べやすい大きさに切る。
- ⑤ツナは油を切っておく。アンチョビは2～3等分する。
- ⑥皿に盛り付け、ブラックオリーブをのせる。食べる直前に塩、こしょう、EVオリーブ油、レモン汁をかける。

メモ

南仏ニース近郊の代表的な、ボリュームたっぷりのサラダです。野菜の他にゆで卵、ツナ、ブラックオリーブ、アンチョビが入っているのが特徴で、オリーブ油と塩、こしょう、レモンだけのシンプルな味付けが素材のおいしさを際立たせます。パケットサンドにしてもおすすめです。

編集後記

- ・ さくらの季節が過ぎ、気温も高くなり夏の季節となってきました。
- ・ 新採用職員として4月下旬からGWにかけて農家実習で玉葱の補植を行い、普段体験することができないことをしました。
- ・ これから気温が上がり、暑い日が続くことになるとは思いますが、体調管理には十分お気をつけて下さい。

(神田 貴章)

JAきたみらい概要

(平成27年5月22日現在)

- ・ 組合員数(正) 1,752人
- ・ 組合員数(准) 5,957人
- ・ 組合員戸数(正) 1,121戸
- ・ 貯金 102,001百万円
- ・ 貸出金 19,248百万円
- ・ 出資金 4,976百万円